

わーくわく

わーくわく

働き続けるを応援しよう!!

第9号

一般社団法人わーくわくねっと
 就労移行支援事業所・就労定着支援事業所
 キャリアサポートセンター姫路
 〒670-0962
 姫路市南駅前町82 南極ビル2F
 Tel 079-282-6130
 HP <https://workwakunet.com/>
 発行 2024年3月25日

2024年が能登の大地震災害のニュースで幕開けとなり、どんな新年になるんだろうと不安な思いに落ち込まれた方も多かった事と思います。“生きる”ということは、喜びも悲しみも苦しみも体験することで、その体験を受け入れられたとき、その体験の意味を理解し、人間として成長していけるのだと思います。

一般社団法人わーくわくねっと キャリアサポートセンター姫路は、4月の新年度より新しいステージに移行することのご報告とこのセンターが立ち上がる経緯を振り返り、たくさんの方々の熱意と応援があればこそ“今”があることをお伝えしたいと思います。

2010年頃は、障がい者特に精神障がい者の就労は難しいと思われており、各事業所も心が出来るだけ安定し穏やかに居られるような支援が中心で、就労に力を入れておられるところは数少なかったのです。そんな背景あるなか、2010年4月に“働きたい”思いがある若者の応援隊が“わーくわくねっとキャリア・サポーター”として、今までの社会経験を活かされた前期高齢者の方達が、訓練協力事業者の開拓と社会適応訓練事業の制度を使い、仕事に就いた方達と受け入れ先のパイプ役になる巡回活動が始まりました。

その受け入れ企業の一つであった株式会社平井工業の先代社長 平井堅様のご提案で、「中播磨心的障がい者就労支援協議会」の応援を目的にしたチャリティ・ゴルフ大会開催の運びとなり、石川病院 院長 石川誠様を発起人代表に、株式会社平井工業 代表取締役 市川新吾様に事務局を担っていただき、160数名の企業家、医療・福祉行政関係者の参加を得、活動の資金と同時に就労体験の機会をも与えて頂いた事は、キャリアサポートセンター姫路のブランド化の一つとなりました。

新型コロナウィルスがパンデミックと言われる世界的な流行になり、集会が禁止される2020年まで11回も継続いただき、その支援のお陰で2013年に一般社団法人を取得し、翌年より就労移行支援事業所“キャリアサポートセンター姫路”が開設されました。

2014年には、現在管理者の川上真一氏、サービス管理責任者である小林美穂子氏の若い人材を迎え、本格的な障がい者の就労支援が稼働し始めました。

新しい息吹が吹き込まれ、彼らの目指す理念

1. 現状維持に慣れずに、今日の自分でなく、一つでも出来ることが増える明日の自分を創ろう！
2. 半年ごとに振り返って、以前の自分から成長している自分を素直に認めよう！
3. 他者と比較して自分に駄目だしせず、一步一步、歩み続けられる自分を“良し”としよう！

を福祉の世界のみでなく、いろんな職種を経たスタッフ達が多角的な視点からの声掛けを徹底しやり続けた事で、最初は就労までに在籍可能期間2年間かかっていたのが、今では1年半で8~9割の方が就労し卒業していただけるようになりました。障がい者というレッテルを自分にも貼り付け、劣等感に押しつぶされそうになっている方にも、その人の持つ“力”を信じて、三つの理念の言葉かけをし続けたことが、自己肯定感を醸成し、「やってみよう！」という気力に変えていった結果なのです。

黎明期に入職した川上氏、小林氏を中心に、ほぼ変わらないスタッフ達がお互いを信頼し、それぞれの役割を明確にし、上下関係でなく補い合ってきたからこそその成果に、理事長として心から感謝いたします。

4月からは、“人を大事に育てる”という同じ理念をお持ちであり多角的な経営をされている社会福祉法人“幸”様に就労移行支援事業をそのまま継続していただくことになりました。

今まであふれんばかりの熱意で共に仕事をし、応援し続けてくださった大勢の方達の顔を思い浮かべながら、本来ならお伺いするべきところ、紙面にてご報告とともにお礼の言葉をお伝え致します。



理事長 濱中 美喜子

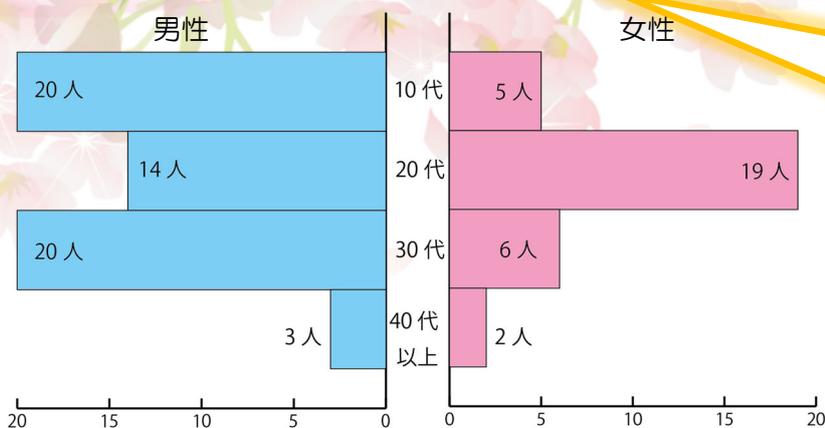
一般社団法人わーくわくねっとの創立者の一人であり、理事長である濱中美喜子が2024年3月6日に急逝いたしました。ここに生前のご厚誼に深謝いたしますとともに、謹んでお知らせいたします。

なお、後任として三木章弘が理事長に就任いたしました。濱中理事長同様、ご指導ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2014年6月に設立いたしました

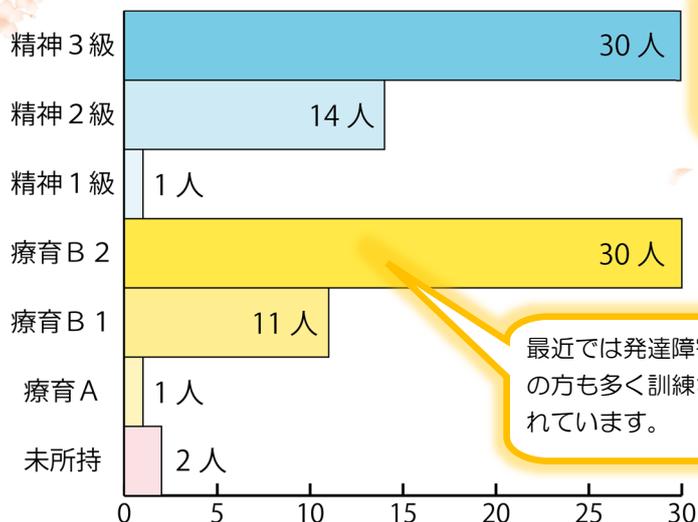
10年の実績

年齢別利用者数



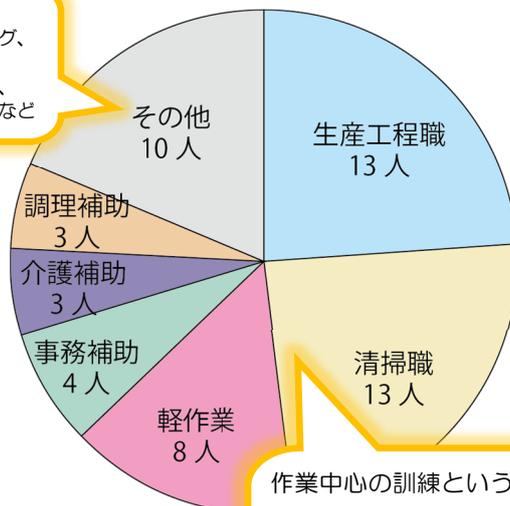
年間平均で約9名の新規利用がありました。
施設内では企業様から受託した軽作業を中心に訓練し、日常的に企業実習にも行っています。

障害者手帳の等級別利用者数



最近では発達障害の方も多く訓練されています。

職種別就職者数



※その他
クリーニング、
商品管理、
店舗内作業、
検査補助、など

作業中心の訓練ということもあり、就職先の職種は製造職・軽作業・清掃職関係が多くを占めています。

近況報告

K. T. さん



現在、働きやすい環境で仕事を行うことができます。訓練では、自分の課題に取り組み、適性について考えることができました。今後も速やかな報連相や、作業効率を上げること等に取り組んでいきたいです。

T. K. さん



訓練を始めて、生活リズムが整い、体調も安定しました。少しでも長く仕事を続けられるように、これかも頑張りたいです。

K. Y. さん



就職して、人と関わることが多くなりました。訓練ではいろいろなところに実習に行き、自分に何が出来るか、何がしたいか考えることができました。今後頑張りたいことは、商品の名前を覚えてお客様に案内できるようにしたいです。

キャリアサポートセンター姫路 入所から現在まで 卒業生の訓練の様子を振り返る



Yさん（23歳※訓練開始当時）
訓練期間：1年5ヶ月
障害種別：自閉スペクトラム症
強迫性障害
障害等級：精神2級

基礎訓練

主治医の指示のもと、まずは週4日からスタート。徐々に出席日数を増やし、週5日の安定出勤ができるようになりました。
基礎訓練期では、軽作業訓練や施設外就労(グループ実習)を通じて働く習慣や社会的マナー、コミュニケーション力を身に付けました。



- Q. キャリアサポートセンター姫路を選んだ理由は何ですか？
A. 実習が多いと聞き、たくさんの経験が積めると思ったから。

- Q. 印象に残った訓練は何ですか？
A. 公園のトイレ清掃と単独実習。
汚れがひどくしんどい時もあったが、嫌なことでも逃げずに取り組み、忍耐強くなった。
単独実習は、初めてのことで大変だったが自分なりに上手くやれたと思う。



企業見学

就労イメージを広げるため、企業見学に行きました。実際の作業の現場を見せていただくだけでなく、「企業が求める力」についてもお話をうかがい、訓練・就職に対する意欲が高まりました。

単独実習

求職活動前に適性を把握するため、興味・関心のある職種に単独で実習を行いました。
訓練開始10ヶ月目に清掃系、11ヶ月目に軽作業系と計2ヶ所で実習を行い、自分に合った仕事を見つけることができました。



- Q. 訓練前と訓練後で変化したことは何ですか？
A. 視野が広がった。
目の前のことだけでなく、周りの人や状況を見て行動できるようになった。

就職

訓練開始から11ヶ月後、就職が決まりました。初めての就職ということもあり、障害者トライアル雇用制度を利用。就労開始時は週20時間勤務でしたが、徐々に就業時間を延長していただき、現在は週40時間のフルタイムで働いています。「新しい業務も任せてもらえるようこれからもがんばりたい」と、向上心を持って毎日仕事に取り組まれています。

- Q. お仕事を続けて良かった点は何ですか？
A. 経済面の向上により生活が安定した。



上：(株)中山合金鑄造所
左：ゴダイ(株)
右：(株)ヒラタ



左：サンライズ工業(株)
下：(株)トリドールD&I



企業見学

まだ働いた経験の無い方や、自分に合う職種がわからない方も多くいらっしゃるため、本格的な就職活動に入る前に企業見学や単独実習の機会を必ず設けています。2023年度ではその一つとして、丸亀製麺で使用する桶の修理を担う株式会社トリドールD&桶工房様へ企業見学に伺いました。



ご支援ありがとうございます ～企業様からの声～



十字屋刺繍 有限会社

創業：1937年 3月

代表者：代表取締役 堀尾 真実

事業内容：繊維・皮革製品等への
ネーム・マークの企画・開発・
販売

所在地：〒670-0882

姫路市広峰1-7-22

弊社は1937年創業の、刺繍を中心に転写マーク・シルクプリントなど、繊維へのマーキング全般を請け負うトータルマーキング工房です。

以前より「わーくわくねっと」理事の三木様と面識があり、障害者支援活動について聞いておりましたので、何かお互いにWIN-WINの関係になれるような取り組みができればと考えておりました。

そして、他地方の同業社長から障害者団体との取り組み成功例を聞き、それなら弊社でも三木様に打診し、「わーくわくねっと」様の事業所であるキャリアサポートセンター姫路様との関係が始まりました。

多くのいろいろな個性を持つ利用者の方々と、スタッフの方々が一人一人親身に支え指導されているのを間近で拝見し、これなら適切な業務を任せられると確信しました。

現在、通常時は施設内での作業、そして一部時期には短期ですが数名の方に実習に来ていただいています。また、3年前からはAさんに社員として就労いただいています。Aさんの働きぶりも良好で、良い方に来ていただいたと感謝しております。

今後もキャリアサポートセンター姫路様と良好な関係が続けられ、利用者の方の一助になれるよう、弊社としても努力していきます。

編集後記

今年の干支は辰（竜）です。

元日早々に竜が暴れ回ったのがマグニチュード7.6、震度7の能登半島地震が発生し、姫路市在住の方でも家屋の揺れを感じ驚かれたのではないのでしょうか？

歴史を振り返ると辰年には過去にも重大事件が発生し、戊辰戦争・日露戦争・戦後の皇居前血のメーデー事件等が起きています。

しかし悪いことばかりではありません。明るい出来事では1964年の東京オリンピック開催・東海道新幹線の開通、1988年の瀬戸大橋開通等の新たな時代の幕開けとなるスタートの年でもあります。

弊所、キャリアサポートセンター姫路におきましては、就労支援方法の充実と多様化を図るため、従来所属の「一般社団法人わーくわくねっと」は2024年3月31日を以て終了し、2024年4月1日からは「社会福祉法人 幸」に事業継承することになりました。

キャリアサポートセンター姫路は2014年6月1日に産声を上げ約10年近く活動してまいりましたが、その時々にも多様な訓練生の方々とサポートし、一般就労への就職と定着を目指して一意専心の活動を行ってきました。今後も社会的ニーズに対応しながら特性を持った方々やその家族に寄り添い社会的自立をめざします。

本年4月1日からは「社会福祉法人 幸」に合流し、再スタートします。

この大きな節目の年を迎え、故濱中理事長の思いとともに新法人の理念「共に生きる～LOVE IS ACTION～」に沿い、ひとり一人が共に助け合い支え合い心豊かな人生を歩むための諸活動に邁進します。